

6回生 選択科目「美術Ⅱ」授業のシラバス

教科名	芸術	科目名	美術Ⅱ	単位数	2単位
科目の目標	○美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。				
教科書	高校美術2（日本文教出版）		副教材	美術 表現と技法（日本文教出版）	

1 学習の目標

- (1) 幅広い美的体験の上に立ち、創造的な美術の諸活動を通して、自然や自己、社会などを深く見つめ表現する能力や、美術作品を多様な視点から分析し理解したり、心豊かな生き方にかかわる美術の働きを理解したりするなどの鑑賞の能力を養う。

2 学習の方法

- (1) 予習について
○基本的には必要ありません。
- (2) 授業について
○教科書・副教材は毎回持参してください。また、表現活動では、必要な道具や用具の準備について、事前に連絡します。
- (3) 復習について
○基本的には必要ありません。

〈学習アドバイス〉

- 完成した作品等を題材ごとに設定した評価基準に基づき評価します。
○美術大学を受験する生徒が、実技試験に対応できるよう対策演習を行います。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①美術への関心・意欲・態度	主体的に美術の活動に取り組み生涯にわたり美術を愛好する心情を深め、意欲的に創造活動に取り組みようとする。
②芸術的な感受や表現の工夫	自然、自己、社会などを深く見つめて主題を生成し、主題に合った表現形式を選択し、創造的で心豊かな表現の構想を練っている。
③創造的な表現の技能	主題を効果的に表現するための方法を工夫し、創造的に表現している。
④鑑賞の能力	作品や作者の個性などに関心をもち、発想や構想の独自性や表現の工夫などについて、多様な視点から分析し、理解している。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料												
	定期 考査	単元 テス ト	小 テス ト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノ ー ト	ワー ク シ ー ト	討 議			
①美術への関心・意欲・態度				○		◎							
②芸術的な感受や表現の工夫				◎		◎							
③創造的な表現の技能				◎		◎							
④鑑賞の能力							◎			○			

〈担当者からのメッセージ〉

- 授業中の創造的な活動の全てが評価の対象になります。主体的に活動に取り組み、創意工夫しながら制作する姿勢を大切にしてください。
- 自然や美術作品、文化遺産などに関心をもちながら鑑賞し、芸術作品に対する理解や見方を深めるようにしてください。
- 受験対策のため、場合によっては授業計画にはない単元を臨機応変に扱うこともあります。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探究心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心をもち、問題発見・解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に示すことができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何よりも他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体を持ち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着を持ち、日本のよさを伝え、貢献することができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	オリエンテーション(1)	○美術Ⅱの目標と授業内容について学習する。	①学習内容と評価のポイントをしっかり理解しようとしている。		AB
5	デッサン材料と表現Ⅰ 「静物デッサン」(9) 言語	○デッサンの基本的知識について学ぶ。 ・モチーフの組み合わせ方 ・形態の把握 ・陰影表現、質感表現 ○与えられたモチーフを自由に組み合わせ、全体の比例などに注意しながら描く。 ○互いの作品を評価しあう。	①デッサンの意義や表現の楽しさを理解し、根気強く創意工夫しながら課題に取り組みようとしている。 ②モチーフの質感や固有色などを考慮しながら、空間を意識した画面構成をしている。 ③描画材料の使用法について理解し、特性を生かして創造的に表現している。 ④自他の作品のよさや美しさ、表現の工夫などを味わい、評価している。		ABI ABI ABI
6					AFHI
7	選択課題Ⅰ 美術大学実技対策演習①または デザイン(16) 言語	○美術大学実技対策演習①下の課題から1つ選択する。 1 静物着彩 与えられたモチーフを組み合わせ、鉛筆と水彩絵具で描く。 2 構成デッサン 自分の手とモチーフを組み合わせ、デッサンを描く。 ○デザイン 課題:「身近な環境デザイン」 店舗のロゴ制作及びマーク入りポスターの制作	①意図に応じてモチーフの組み合わせや色彩の生かし方などを工夫し、効果的にあらわそうとしている。 ②効果的な表現をするために、組み合わせや配色などを工夫している。 ③目的にあった用具を的確に使用し、美しく表現している。 ④完成した作品を鑑賞し、よさや美しさを味わっている。		ABI ABI ABI
8					AFHI
9				レポート提出	
10	デッサン材料と表現Ⅱ 「構成デッサン」(16) 言語	○与えられたモチーフを自由に組み合わせ、全体の比例などに注意しながら描く。 ○描画材料は鉛筆・ポスターカラーとする。	①デッサン・彩色の意義や表現の楽しさを理解し、根気強く創意工夫しながら課題に取り組みようとしている。 ②モチーフの質感や固有色などを考慮しながら、空間を意識した画面構成をしている。 ③描画材料の使用法について理解し、特性を生かして創造的に表現している。 ④自他の作品のよさや美しさ、表現の工夫などを味わい、評価している。		ABI ABI ABI
11					AFHI
12	選択課題Ⅱ 美術大学実技対策演習②または 油彩画(14) 言語	○美術大学実技対策演習②下の課題から1つ選択する。 1 平面構成 2 静物着彩 3 構成デッサン ○油彩画一技法と表現 油絵具の技法や表現方法について学び、油彩で身近な静物を描く。	①意図に応じてモチーフの組み合わせや色彩の生かし方などを工夫し、効果的にあらわそうとしている。 ②効果的な表現をするために、組み合わせや配色などを工夫している。 ③目的にあった用具を的確に使用し、美しく表現している。 ④完成した作品を鑑賞し、よさや美しさを味わっている。		ABI ABI ABI
1					AFHI
2					AFHI
3	選択課題Ⅲ 美術大学実技対策演習③または 立体彫刻(鋳金) 言語	○美術大学実技対策演習③下の課題から1つ選択する。 1 平面構成 2 静物着彩 3 構成デッサン ○立体造形の技法(鋳金)について学び、作品を製作する。 ○互いに評価し合う。	①意図に応じてモチーフの組み合わせや色彩の生かし方などを工夫し、効果的にあらわそうとしている。 ②効果的な表現をするために、組み合わせや配色などを工夫している。 ③目的にあった用具を的確に使用し、美しく表現している。 ④完成した作品を鑑賞し、よさや美しさを味わっている。		ABI ABI ABI AFHI

※授業内容を前倒しで行う場合があります。

※【関心・意欲・態度】→①、【芸術的な感受や表現の工夫】→②、【創造的な表現の技能】→③、【鑑賞の能力】→④として表現しています。